

平成22年7月14日(水)

第2回「雷別ドングリ倶楽部」活動

7月14日(水)、会員8名が参加して第2回「雷別ドングリ倶楽部」の活動を行いました。当日は天気に恵まれ暑い中、全員で「遊歩道の整備」、「ヘキサチューブの撤去作業」を行いました。

遊歩道の整備では、芽生えたばかりの広葉樹(ミズナラ、シラカンバ、ヤチダモなど)を刈ることが無いよう注意を払いながら、下刈鎌で歩道の草刈りを行いました。その後、樹木説明の看板三基の設置を行いました。

午後からはヘキサチューブの撤去作業を行いました。ヘキサチューブとは植栽木を鹿の食害から守るため木に被せたチューブです。植栽木がヘキサチューブより大きくなり鹿の食害を受けるおそれが無くなったので撤去しました。植栽木の中には、成長が良かったため簡単に抜けなくなりヘキサチューブを壊し撤去したものや、チューブを抜いた後支えがないとすぐに倒れてしまう植栽木など様々でしたが、立派な森林になることを願い撤去作業を行いました。

雷別からの帰りには、巨木百選に選ばれている標茶のミズナラを見学し、巨木の生命力を少しだけいただいて帰路につきました。(自然再生指導官 朝倉)



遊歩道の草刈り



遊歩道へ樹木説明看板の設置



ヘキサチューブの取り外し



標茶のミズナラ巨木